

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 H1ベルハンマースプレー 420ml
主用途として潤滑油
会社名 スズキ機工（株）
住所 〒270-2214 千葉県松戸市松飛台316-3
緊急連絡先 品質保証部
電話番号 047-385-5311
FAX番号 047-385-5313
受付日時 月曜日～金曜日 8：30～17：00
作成日 平成26年06月25日
改訂日 平成28年03月30日
整理番号 M-407-a

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール 区分1
引火性液体 区分外

GHS分類

・可燃性／引火性ガス 区分1
・引火性液体 区分外
・急性毒性（経口） 分類できない
・急性毒性（経皮） 分類できない
・急性毒性（吸入：気体） 分類できない
・急性毒性（吸入：蒸気） 分類できない
・急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） 分類できない
・皮膚腐蝕性、刺激性 分類できない
・眼に対する重篤な損傷・刺激 分類できない
・呼吸器感作性 分類できない
・皮膚感作性 分類できない
・生殖細胞変異原性 分類できない
・発がん性 分類できない
・生殖毒性 分類できない
・特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） 区分3（麻酔作用）
・特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 分類できない
・吸引性呼吸器有害性 分類できない
・水性環境有害性（急性） 分類できない
・水性環境有害性（慢性） 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

ラベル表示物質：なし

危険有害性情報

- ・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
- ・眠気またはめまいのおそれ

3組成、成分情報

物質の特定単一製品・混合物の区別：混合物（エアゾール製品）

成分情報及び含有量：

化学名		官報公示整理 番号化審法	CASNo.	安衛法通知 対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 (質量%)
内容液	潤滑油基油	非公開	非公開	非該当	非該当	40～45
	添加剤	非公開	非公開	非該当	非該当	0.5～3
	2, 6-ジータ-シャリ-ブチル-4-クレ ゾール	3-540	128-37-0	該当	非該当	0.5以下
噴射剤	プロパン	2-3	74-98-6	非該当	非該当	10～20
	ブタン	2-4	75-28-5 106-97-8	該当	対象外	40～50

4. 応急処置

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布等でおおい、保温して安静に保ち、必要なら医師の
手当を受ける。

皮膚に付着した場合：石鹼と水で付着した部分を洗う。

目に入った場合：清浄な水で最低15分目を洗浄したのち、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、
水で十分洗う。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報：現在のところ有用な情報なし。

応急措置をする者の保護：現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別注意事項：現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消 火 剤：粉末 炭酸ガス 泡砂

特定の危険有害性：火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消 火 方 法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸 ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以
外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロ
ン、ゴーグル等）着用し、皮膚への付着や蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出さ
れ、環境への影響を起ささないように注意する。

除 去 方 法：着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時（填出時）には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きに
し、完全にガスを噴出してから処置をする。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。
 大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること

取扱い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れていないこと。

取り扱いには換気のよい場所で行うこと。

通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

保管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かないこと。
 子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

成分	管理濃度 (ppm)	3年容濃度 (ppm)	
		日本産業衛生学会	ACGIH
内容液	未設定	3mg/m ³ (鉱油ミスト) 2010年度版	(TWA) 5mg/m ³ (鉱油ミスト) 2010年度版
噴射剤	プロパン	未設定	1800
	ブタン	未設定	1800

設備対策：屋内作業場での使用の場合は局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具：必要に応じて有機ガス用防毒マスク

眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面

手の保護具：溶剤用手袋など不浸透性のもの

皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。

適切な衛生対策：濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

[内容液]

物理的状态

形状：液体

色：白色

臭い：臭気あり

凝固点：データなし

分解温度：データなし

引火点：200℃以上 (COC)

発火点：データなし

爆発特性：爆発限界：下限：1容量% 上限：7容量% (推定値)

蒸気密度 : データなし
 密度 : 0.9 g/cm³
 溶解性 : 水に対する溶解性 : 不溶
 オクタノール/水分配係数 : データなし
 初留点 : データなし

[噴射剤]	プロパン	ブタン
外観	: 無色気体	無色気体
比重	: 0.501g/cm ³	0.557~0.579g/cm ³ (20°C)
蒸気比重	: 1.60	2.00~2.10 (空気=1)
蒸気圧	: 0.744MPa (20°C)	0.107~0.202LPa (20°C)
沸点	: -42.0°C	-0.5~-12°C
融点	: -187.69°C	-138.3~-159.4°C
引火点	: -104°C	-60~-81°C
発火点	: 450°C	365~460°C
爆発限界	: 2.1~9.5vol%	1.8~8.4vol%
溶解性	: 水に不溶	水に不溶

10. 安定性及び反応性

[内容液]

安定性 : 通常の条件では安定
 反応性 : 強酸化剤との接触を避ける
 避けるべき条件 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
 避けるべき材料 : 現在のところ有用な情報なし
 危険有害な分解生成物 : 燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。
 その他 : 現在のところ有用な情報なし。

[噴射剤]

安定性・反応性 : 通常の手扱いにおいては安定である。

11. 有害性潤報

[内容液]

急性毒性 (経口) : 経ロラットLD₅₀ : 5g/kg以上
 皮膚腐食性/刺激性 : 現在のところ有用な情報なし。
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 現在のところ有用な情報なし。
 感作性 : 現在のところ有用な情報なし。
 生殖細胞変異原性 : 現在のところ有用な情報なし。
 発がん性 : 流動パラフィン : 高度性精油はIARCでは、グループ3に分類 (ヒトに対して発がん性について分類できない) に分類されている。
 流動パラフィン : 高度性精油より精製度が高いため区分外とした。
 合成油 : IARCやNTPには収録されていない。
 添加剤 : 現在のところ有用な情報なし。
 生殖毒性 : 現在のところ有用な情報なし。
 特定標的臓器/全身毒性 (単回曝露) : 現在のところ有用な情報なし。
 特定標的臓器/全身毒性 (反復曝露) : 現在のところ有用な情報なし。
 吸引性呼吸器有害性 : 現在のところ有用な情報なし。

[噴射剤]

噴 射 剤

急性毒性：吸入 マウス LC₅₀ 680mg/1 (約26%) 2時間

ラット LC₅₀ 658mg/1 (約26%) 4時間

刺激性：皮膚を侵すことは少ないが、液体の状態では皮膚に触れた時は凍傷の恐れがある。

気体状態の刺激性は極めて少ない。

皮膚に触れた場合は刺激性あり、長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

気体状態の目・皮膚への感作性は極めて少ない。

目に入った場合は粘膜等を刺激する。

その他毒性：若干の麻酔性あり。生態影響：なし。

(注) LD₅₀：半数致死量 (mg/kg) LC₅₀：半数致死濃度 (ppm)

12. 環境影響情報

[内容液]

生態毒性：現在のところ有用な情報なし。

残留性・分解性：現在のところ有用な情報なし。

生態蓄積性：現在のところ有用な情報なし。

土壌中の移動性：現在のところ有用な情報なし。

[噴射剤]

現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は各自自治体の指示に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連分類：(クラス2. 1) 高压ガス

国連番号：1950

注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、…落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

高压ガス保安法：適用除外 (液化ガス可燃性ガス)

消防法：危険物第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法：施行令別表1-4、危険物・引火性の物

施行令別表1-5、危険物・可燃性のガス：プロパン、ブタン

通知対象物質 (2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール、ブタン)

表示対象物質 (該当なし)

PRTR法：非該当

船舶安全法：危険物 (高压ガス)

航空法：高压ガス

16. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ・ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。
- また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引用文献：

- ・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
 - ・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社
- その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。